第 378 号・平成 22 年 10 月発行

○人事異動

■人事異動

○諸　　報

■日本人間工学会『情報社会人間工学部会』シンポジウム「人間中心（住民中心）から行政事業を考える」を開催

■シニアアカデミー2010 を開催

■平成２２年度小樽商科大学教職員学生指導研究会を開催

■学生が商大グッズの日本酒「小樽緑丘」原料米の稲刈りを体験

■学位記授与式（９月卒業・修了）を挙行

○規　　程

■ 一部（全部）改正

○主要日誌

■ 平成２２年９月主要日誌

○行事予定

■ 平成２２年１０月予定

人　　事　　異　　動

総　　務　　課

平成２２年９月３０日付け発令

発令事項（新職名）	氏　　　　名	旧職名（現職名）
【辞職】	横　村　栄　美	言語センター助教

人　事　異　動

総　務　課

平成２２年１０月１日付け発令

発令事項（新職名）	氏　　名	旧職名（現職名）
【昇任】		
商学部教授（経済学科）	寺　坂　崇　宏	商学部准教授（経済学科）
商学部教授（商学科）	坂　柳　　明	商学部准教授（商学科）
言語センター教授	CALUIANU Daniela	言語センター准教授
【配置換（嘱託職員）】		
キャリア支援課付	高　橋　静　次	創立百周年記念事業推進室

人　　事　　異　　動

総　　務　　課

平成２２年１０月１日付け発令

発令事項（新職名）	氏　　　　名	旧職名（現職名）
【採用（非常勤職員）】 言語センター	紙　田　　清	

諸 報

日本人間工学会『情報社会人間工学部会』シンポジウム「人間中心（住民中心）から行政事業を考える」を開催

ビジネス創造センターでは、2010年6月20日（日）に、「人間中心（住民中心）から行政事業を考える」と題したシンポジウムを、日本人間工学会 情報社会人間工学部会との共催にて開催しました（於：小樽商科大学札幌サテライト）。本シンポジウムは、日本人間工学会情報社会人間工学部会の1999年からの取り組みによるものです。行政事業における人間中心アプローチについて、行政の様々な現場で日頃ご活躍されている講師の方々をお招きし、ご講演いただくとともに、会場も交えたパネルディスカッションを実施したものです。学内外から約20名の方々にご参加いただき、活発な討議が行われました。講演者は次の通りです。

　金田博恵氏（札幌市観光文化局 観光コンベンション部観光企画課計画担当係長）
　高野伸栄氏（北海道大学大学院工学研究科 准教授）
　前原功治氏（北海道ニセコ町役場商工観光課観光戦略推進係係長）
　平沢尚毅（日本人間工学会 情報社会人間工学部会長、 小樽商科大学 社会情報学科 教授、ビジネス創造センター UX研究部門長）

なお、本シンポジウムは、特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構のご後援をいただいて開催いたしました。 ご協力くださった講師、会場のみなさまに御礼申し上げます。

（ビジネス創造センター）

（金田博恵氏）

（高野伸栄氏）

（前原功治氏）

（パネルディスカッションの様子）

諸 報

シニアアカデミー2010を開催

学習意欲の旺盛な団塊・シニア世代を対象とした体験型生涯学習プログラム「シニアアカデミー２０１０『小樽商大で学ぶー小樽の歴史・文化・観光ー』」を８月３１日から４日間の日程で開催しました。

このプログラムは，平成２０年３月に締結した小樽市との包括連携協定に基づく連携事業として，市の全面的な協力により開催したもので，今回で２回目の開催となります。講義には，小樽の歴史，文化，観光に関するものに加えて，本学出身の作家である小林多喜二と伊藤整を取り上げるとともに，講義に連動する内容のフィールドワークを行いました。

本学は，来年の平成２３年に創立百周年を迎えるため，本プログラムをプレ創立百周年事業としても位置づけ，全国の卒業生にも案内したところ，全国各地から卒業生８名を含む２２名が参加しました。参加された卒業生の方からは，「小樽商大の卒業生であり，地元小樽生まれの私ですが，今までよく知らなかった小樽の歴史と社会的意義を深く理解することが出来ました。今後とも継続し，小樽市民や北海道民，日本国民の方々に啓蒙してほしいと考えます。」との感想が述べられました。

プログラム期間中は天候にも恵まれ，小樽市内の穴場的な観光スポットや小林多喜二や伊藤整の文学碑などを訪れ，受講生は通過型の観光では得られない小樽の魅力に触れることができました。

「内容の濃い４日間で受講して良かったです。小林多喜二に興味を持っていたので，自分の知らない面，人柄にふれました。大学の先生，レクチャーしていただいた方々，学生の小樽を活性化したいというエネルギー，意欲が伝わりました。」等，受講生からは好評を得ており，今後も小樽市と協議を重ね，次回以降の企画を検討することとしています。

（総務課）

（講義「小樽の歴史的建造物」）

（小樽運河の散策）

（伊藤整の文学碑を見学）

（小樽の観光についての意見交換会）

諸 報

平成２２年度小樽商科大学教職員学生指導研究会を開催

９月１３日（月）から１４日（火）の２日間に亘り、第３８回目を数える教職員学生指導研究会が、「積丹余別クラッセの宿」において開催されました。

この研究会は学生指導に関わる学内の委員会委員及び担当事務職員等を対象に、新しい知識を吸収し、日常抱える諸問題について検討、情報交換を行うことによって学生指導業務の充実を図る目的で開催していますが、今年度は、２年ぶりに学外で開催することとなり、広く教職員に参加を呼びかけたところ、２９名（教員１６名、事務職員１３名）が参加して、活発な意見交換を行いました。

研究会１日目の終了後には情報交換会も行われ、今後の学内協力体制を強化させる上で大変有意義なものとなったようです。なお、今年度のプログラムは下記のとおりでした。

平成２２年度教職員学生指導研究会プログラム

（１）講演 ①「商大・小樽の１００年」 山本眞樹夫 学長

②「リスクマネジメントの現在」 和田健夫 総務担当副学長

（２）協議 ①「今後あるべき大学教育とは？」 高原淳子 学務課学部教務係

（３）報告 ①「本学卒業生に対する卒業生・就職先企業の評価とは？

―アンケート結 果から見る本学卒業生の評価―」

辻義人 教育開発センター助教

②「eポートフォリオの導入は本学学生に何をもたらすか？

―他大学の活 用事例に基づくeポートフォリオの教育効果の検証―」

辻義人 教育開発センター助教

③「附属図書館の現状と今後について」

杉田茂樹 学術情報課長、猿橋キヨミ 学術情報課情報サービス係長

（学務課）

（山本学長の講演）

（辻助教の報告）

（学務課・高原氏の協議事項の発表）

（学術情報課・猿橋氏の報告）

諸 報

学生が商大グッズの日本酒「小樽緑丘」原料米の稲刈りを体験

平成２２年９月２２日（水）に，学生，山本学長ら１２名が，商大グッズの日本酒「小樽緑丘」の原料となる酒米を生産している後志管内仁木町にある「紅果園」（園主 寒河江様）で，稲刈りを体験しました。

春の田植えから３ヶ月経ち見事に成長した稲穂を前に，園主から稲刈りのレクチャーを受けて，学生達は一斉に稲刈りを開始しました。この日は好天に恵まれたこともあり，絶好の作業日和でした。春の田植えと違い足場が安定していることもあり，慣れるにつれ作業のスピードも上がっていきました。

田植えの後には，労をねぎらうための焼肉パーティーが行われました。参加した学生からは「春の田植えの時にも参加したんですけど，それよりも楽しく出来ました。」「初めての農作業だったけどとても面白かった。」と貴重な体験を喜ぶ声が聞かれ，有意義な一日となりました。

（総務課）

（みんなでポーズ！）

（稲刈りをする山本学長）

（ただ今，稲刈り中）

（みんなで記念撮影）

学位記授与式（９月卒業・修了）を挙行

平成２２年９月３０日（木）に，大学会館多目的ホールにおいて，学位記授与式（９月卒業・修了）が行われました。今年度の卒業生は商学部２６名，修了生は大学院商学研究科現代商学専攻博士前期課程修了生１名の計２７名で，山本眞樹夫学長から一人一人学位記を授与されました。

学長は式辞の中で，「来年本学は創立百周年を迎えます。本学の歴史にとっても大きな分水嶺を迎えたといえます。しかし，「実学，語学及び品格」の育成という本学のモットーはいささかも変わりません。むしろ，次の世界を創る人材に最も必要な能力といえます。本学で学んだ諸君は，大きな自信をもって社会で活躍してください。」と卒業生を激励しました。

（総務課）

（卒業生一人一人に学位記を授与）

（学位記を手に記念撮影）

学内規程

一部（全部）改正 目 次

学内規程中，一部（全部）改正のあったものの新旧対照表を掲載します。
各規程の詳細については，総務課総務係（5207）までお問い合わせ願います。

１．H22.9.15小樽商科大学授業料免除及び徴収猶予取扱規則の一部を改正する規程

２．H22.9.15小樽商科大学教務委員会規程の一部を改正する規程

H22.9.15 一部改正
H22.10.1 施行

小樽商科大学授業料免除及び徴収猶予取扱規則の一部を改正する規程

【改正理由】
懲戒処分を受けた者に係る授業料免除等の許可の取消しを行うために所要の改正をおこなうもの

新旧対照表

新	旧
第１条～第１３条　（略） 第１４条　学則第４３条の規定により，懲戒処分を受けた者の授業料免除等の取扱いは，次の各号のとおりとする。 （１）停学(停学期間が３か月以上)を受けた者 ア　懲戒処分の発効日の属する期の授業料の免除等の許可取消し又は申請不受理 イ　懲戒処分の発効日の属する期の次の期の授業料の免除等の申請不受理 （２）停学(停学期間が３か月未満)を受けた者 懲戒処分の発効日の属する期の授業料の免除等の許可取消し又は申請不受理 （３）訓告を受けた者 懲戒処分の発効日の属する期の授業料の免除等の許可取消し又は申請不受理 ２　前項の場合において，学長は学生委員会の議を経て，授業料の免除等の許可を取消すものとする。 附　則 この規程は、平成２２年１０月１日から施行する。	第１条～第１３条　（略）

H22.9.15 一部改正
H22.9.15 施行

小樽商科大学教務委員会規程の一部を改正する規程

【改正理由】

教職課程のあり方について全学的な見地から検討する必要があるため，審議事項に「教職課程に関する事項」を追加し，また，専門部会を設置できるよう規程改正を行うもの。

新旧対照表

新	旧
（略）	（略）
（審議事項） 第２条　委員会は，次に掲げる事項を審議する。 （略） （８）教職課程に関する事項 （9）その他教務に関する事項	（審議事項） 第２条　委員会は，次に掲げる事項を審議する。 （略） （8）その他教務に関する事項
（略）	（略）
（専門部会の設置） 第８条　委員会は，専門的な事項を検討するために専門部会を置くことができる。 ２　専門部会に関する必要な事項は，委員会が別に定める。	
（事務） 第9条　委員会の事務は，学務課が行う。	（事務） 第8条　委員会の事務は，学務課が行う。
附　則 この規程は、平成２２年９月１５日から施行する。	

主 要 日 誌

平成２２年９月

1	水	平成23年度アントレプレナーシップ専攻前期入学試験出願期間（～6日） 小樽商科大学シニアアカデミー2010（～3日）
2	木	10:30～教務委員会（教育担当副学長室）
3	金	16:00～インターンシップ意見交換会（第２）
8	水	共済監査（第２、～10日） 13:30～国際交流委員会（研究棟B）
9	木	13:30～アントレプレナーシップ専攻入学試験委員会（研究棟Ｂ） 13:30～課長会（局長室）
13	月	小樽商科大学教職員学生指導研究会（積丹クラッセの宿、～14日）
14	火	18:30～韓国人留学生と韓国語でしゃべらないかい2010（214講義室）
15	水	10:32～アントレプレナーシップ専攻会議（第１） 13:00～教授昇任学部教授会（第１） 14:33～学部・大学院合同教授会（第１） 15:02～学部教授会（第１） 15:55～現代商学専攻会議（第１） 16:39～教育研究評議会（第１）
16	木	10:00～財務委員会（第２） 15:00～千葉黎明高校来学（教育担当副学長室）
17	金	15:00～課長会（局長室）

21	火	18:30～韓国人留学生と韓国語でしゃべらないかい 2010（214講義室）
25	土	平成２３年度現代商学専攻前期入学試験 16:30～現代商学専攻入学試験委員会(第２）
26	日	13:30～平成２３年度アントレプレナーシップ専攻前期入学試験
27	月	東京緑丘企業等セミナー（東京緑丘会館、～２９日） 13:00～学長選考会議（第１） 14:00～経営協議会（第２） 15:20～役員会（学長室）
28	火	10:00～課長会（局長室） 18:30～韓国人留学生と韓国語でしゃべらないかい 2010（214講義室）
29	水	9:00～短期留学プログラムオリエンテーション（253講義室）
30	木	10:00～学位記授与式（大学会館多目的ホール）

行事予定表（１０月）

1	金	9:00～短期留学プログラム入学式（253講義室）
2	土	13:00～保護者懇談会
3	日	
4	月	10:00～アントレプレナーシップ専攻入学試験委員会（第２）
5	火	
6	水	10:30～アントレプレナーシップ専攻会議（第１） 13:00～科学研究費補助金学内説明会（第１） 15:00～教授会等（第１）
7	木	10:00 現代商学専攻博士前期課程、アントレプレナーシップ専攻前期入学試験合格発表
8	金	13:00～インターンシップ専門部会（教育担当副学長室） 15:30～札幌創成高校生徒来学
9	土	
10	日	
11	月	体育の日
12	火	
13	水	東京地区進学説明会（東京緑丘会館） 14:30～国際交流委員会（研究棟B） 14:30～第二回就職ガイダンス（210講義室）
14	木	千葉地区進学説明会（千葉市内）
15	金	10:00～札幌開成高校PTA来学
16	土	

17	日	
18	月	13:00～学生委員会（教育担当副学長室）
19	火	滝川高校生徒来学（時間未定）
20	水	14:30～緑丘企業等企画講座「ビジネスマナー講座」「業界研究の進め方」（210講義室） 15:00～Barrel講演会（251講義室）
21	木	編入学・再入学願書受付期間（～28日）
22	金	12:10～副学長と学生との懇談(教育担当副学長室）
23	土	
24	日	
25	月	国際交流週間（～30日） 13:30～役員会（学長室）
26	火	
27	水	10:30～アントレプレナーシップ専攻会議（第１） 14:30～教授会等（第１） 14:30～緑丘企業等企画講座「自己分析」「エントリーシート」（210講義室）
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	